

フランス滞在の VISA ・ 滞在許可証に関する覚書

29 Juillet, 2010

はじめに

フランスに 1 年間研究滞在する Grant を得た時の, 諸手続きに関する覚書です. 2010 年の情報に基づきます. Sponsor は日本学術振興会, 任地は Paris VI University (Université Pierre et Marie Curie).

keywords:

研究者, protocole d'accueil, レセピセ, recepisse, récépissé, 滞在許可証, carte de sejour, titre de sejour, レセピセでの外国出張/渡航, retour visa/return visa, l'ordre de la mission, 召喚状 convocation, 住居, 滞在施設 accommodation, housing, guest-house,

1 流れ

VISA 取得 (在東京フランス大使館)

↓

Récépissé(受取証: 仮滞在許可証みたいなもの) 取得 (Prefecture de Police @ Île de la Cité)

↓

健康診断 (OFII @ 48, rue de la Roquette, Paris)

↓

Titre de sejour (滞在許可証) 取得

2 出発前に日本でする事

2.1 VISA の申請 (在東京フランス大使館)

以下の物を提出します.

1. 現地 (フランス) 受け入れ研究機関から, 「[protocole d'accueil](#)」 あるいは 「[convention d'accueil](#)」 という書類を準備してもらいます. 生年月日・出生地・既婚/未婚などについて尋ねられるので, 履歴書を渡してあげるとはかどります. それから学位取得証明 (学部・修士・博士) を求められ

たので、スキャンしてメールで送りました。

必要な時間は現地の対応次第ですが、おおむね1週間ほど。ただし私の場合は、書類をお願いをした直後にフランスがクリスマス休暇に入り、実際に処理が始まったのは4/Jan/2010、発行されたのがJan/15、現物が郵送されて届いたのがその一週間後ぐらいでした。

2. 学術振興会 (あるいは滞在費を援助する機関) から、Grant の証明書 (英文) を発行してもらいます。ここでは、大学事務が受け入れ判断をスムーズに出来る方が良かろうと思い、滞在費 (EUR) が明記された物を提出。
3. パスポートと写真。
4. VISA 申請代金 (13,200JPY でした。25/Jan/2010)
5. VISA の申請書 (大使館で記入した気がする)

書類に不備が無ければ、概ね2～3営業日ほどで発行される。郵便返送を希望する場合は、別途大使館で問い合わせ。

2.2 フランス到着後のための事前準備: 出生証明とその仏語翻訳

後に詳述しますが、現地到着後に「出生証明とそのフランス語翻訳」が必要になります。

出生証明は、両親の名前が記載されているもの、という条件があるようです。実際、後述する「*récépissé*」には両親の名前が書かれています。よって、「戸籍謄本の写し」を取得しましょう。つづいて、フランス大使館が認定する「法定翻訳を行なう業者」のリストの中から (翻訳手数料と納期を尋ねて) 適当な業者を選定し、戸籍謄本の写しを業者に送付します。業者によってはFAXで送れば良い、と言ってくれるところもあります。私は (近所だった) 飯田橋の業者に頼んで、法定翻訳手数料は5,000円でした。概ね1週間ほどで出来上がります。

つづいて謄本の写しと翻訳を、在東京フランス大使館に送り、「法定翻訳の査証」という手続きをしてもらいます。法定翻訳に誤りがない事の *endorsement* です。この際、一頁あたり2000円程度の手数料が要るのですが、為替相場によって金額が変動しますので、少し多めに手数料を現金書留で送るのが通例のようです。私の場合は、(1) カバーレター、(2) 謄本の写しと翻訳 2pages, (3) 2pages×2,000円の査証手数料、(4) 切手貼付したお釣り返却用の現金書留封筒 (その中に査証も同梱されて返送)、の四点を現金書留で送りました。往路の切手代金は510円。復路の(4)は、約400～500円のお釣りと予想し、その重さを事前に計量してもらって560円の切手を貼付しました。

この「法定翻訳の査証」作業は (実に面倒くさい事に) 郵送しか認められておらず、フランス大使館に持っていったもやってもらえません (Jan/2010 現在)。特に面倒なのは、お釣りを予想して返信用現金

書留封筒を用意する事です。お釣りは受け取らない方がコストが低いので、「お釣りは要らないから返信用 80 円切手で済ませてもいいでしょうか？」と (法定翻訳業者に) 相談したら、定められた手順を踏まないで発行してくれませんよ、との事だったので、やむなく従いました。一週間ほど (04/Feb/2010) で、414 円のお釣りと一緒に翻訳査証が届けられました。

2.3 住む場所の選定

事前に決めていくのが良いでしょう。

研究者のための居住施設 (寮) として、パリ市の南 (14 区) にある **Cité Universitaire (国際大学都市)** を紹介される事が多いです。日本館、フランス館、イタリア館など、いろんな **maison** があり、国籍に関係なく、どの **maison** でも入れるようです。家族向けの部屋もあるそうです。間取りを調べれば分かりますが、大半の **Cité Universitaire** の部屋の浴室には、浴槽がないのが残念です。日本館 (**Maison du Japon**) は、当時、照会をしても返信が迅速ではないことで有名で¹、受け入れ機関事務の方に相談して、別の **maison** にするなど、臨機応変に対応してもらいましょう。ただしその後 (2010 夏)、日本館の館長が交代してその後の対応に変化があったと聞いた事があります。

そのほか、**パスツール研究所** の研究者向け寮を紹介される事もあります。ここも浴室に浴槽がないです。

私は、上記のいずれも諦め、某社旅行ガイド本に紹介されていた「長期滞在アパート」にコンタクトして、物件 (18m² 家具・浴槽付き) を紹介してもらいました。対応してくださったのは日本人スタッフで、スムーズに連絡が取れました。家賃一ヶ月分の仲介手数料がかかりますが、電気/水道の開始・銀行口座開設の手続きなどを手伝ってもらえ、生活の立ち上げにはとても助かりました。漏水やその他の問題にも、相談すれば対応してもらえました。トラブルシューティングは、パリの時間スケールのため、必ずしもスムーズとは言えませんが、相談窓口として頼もしかったです。

3 滞在許可証の手続き (フランス到着後)

在東京フランス大使館で発行される **VISA は 90 日のみ有効** で、それ以降の滞在には現地到着後に「**titre de sejour**」 (.or. **carte de sejour**; 滞在許可証) を取得する事になっています。在東京フランス大使館では「到着後二ヶ月以内にその作業を開始しなさい」と言われます。到着後、現地所属機関の事務にやってもらいます。その時に必要な書類は

1. **Protocole d'accueil** (上記)
2. 住居の契約書 (アパートか寮の入居時に、契約書として渡される²)

¹パリ到着後に **Maison du Japon** への入居を交渉する事が可能なようです

²居住契約終了日が書いてある事が大事ならしい

3. 出生証明とそのフランス語翻訳 (上記).
4. (学術振興会発行の) 滞在費を保証する証明書.
5. 学位取得証明 (博士の分, 原本)
6. パスポートと写真

でした.

ここで提出する「滞在費を保証する証明書」には、金額が無記載のものが良いと思われます。なお、滞在費が JPY で書かれていると、EUR で記載せよ、と言われる場合があるようです。

なお、この手続きは到着後すぐに開始したのですが、次項の *récépissé* が発行される前に、大使館発行の 90 日 VISA が有効期限を迎えてしまいました。事務に問い合わせたところ、*récépissé* 処理中なので、VISA が失効しても不法滞在にはならない、との回答を得ました。

3.1 *Récépissé* / レセピセ

上記書類を提出すると、2～3ヶ月して「*récépissé*」(受取証:仮滞在許可証)が発行されました。発行に要する期間は地方ごとに異なるようで、一概な目安はなさそうです。

Île de la Cité にある Prefecture de Police まで行き、F という建物の niveau-1(日本2階)の 1516 室で、ものの数分で発行されました。ただし、この窓口は 9am-正午の、午前のみ営業です。

Récépissé は、おそらく *récépissé* が当局で処理された日 (申請者が受け取った日とは異なる) から 2ヶ月間有効で、その間に、後述する健康診断を受け *titre de sejour*(滞在許可証:後述 § 4) を取得します。

ただし、数ヶ月(3ヶ月以上～4,5ヶ月)だけ滞在した学生さんに聞いたところ、*titre de sejour*(滞在許可証)は取得せず、*récépissé* のみで通したそうです。この辺りの技は別の webpage に詳しいでしょう。

3.2 外国に出張／渡航する場合

Récépissé のみ有する段階 (滞在許可証が発行される前) は、自由な外国渡航が制限されます^{3 4}。

この段階の外国出張／渡航は少し面倒で、「*retour visa*」(帰国のための *visa*: *return visa*) を取得せねば、フランスに戻って来られません。まず「*l'ordre de la mission*」(用務命令) という書類を、所属機関のボスに作成してもらいます。A4 用紙一枚なので、ボスがいれば機関所定用紙にサインしてもらうだけです。

³ただし Shengen 協定の結ばれた国を除くようですが、詳細は所属機関事務に尋ねましょう。たとえば UK は Shengen 協定に入っていないので EU だと思っても要注意。

⁴大使館発行の「90 日 VISA」は *multiple-entry* だったので、*récépissé* が発行される前ならば、VISA だけ携えて外国出張できるよう (旅行予定の友人が Prefecture de Police の Salle des Visas で訊いた結果:13/Oct/2010 update)。なお、*récépissé* が発行された段階で 90 日 VISA はキャンセルされた事になるので、90 日 VISA 失効日までに日数が残っていても、もはや役に立ちません。その場合は、ここに記載する *return visa* が必要です。

渡航国の数だけ l'order de la mission を発行してもらい, *récépissé*・パスポートと写真(1枚)の四点を持って, Île de la Cité の Prefecture de Police の Bldg. E 地上階 (niveau-0 .or. Rez de Chaussée) にある Salle des visas (visa セクション) へ行けば, 窓口で即日発行してくれます. ただし昼飯時にかかると 2 ~ 3 時間待たされます. 現場で申請書類を記入する必要がありますが, 日本の役所と違って, ペンの用意などありませんので, 自前で持っていきましょう. 私は, 待ち行列にいた優しいマダムに借りました. 何カ国の出張予定があっても一枚の申請用紙で良さそうですが, 「Nombre de destination」(訪問国数) は正確に書くのが良いでしょう⁵.

窓口処理中に, *récépissé* と l'order de la mission の photocopy を取ってこいと言われます. Bldg. E の廊下にある photocopy は 0.20EUR/枚で, お釣りが却ってこなかったのので, 20 セントを数枚持ちましょう. 同じく窓口処理中に, Bldg. F 地上階の売店に行くと, 6.0EUR 分の印紙を買ってこい, と言われます. その印紙をパスポートに貼られて, なにやらスタンプをたくさん押されれば, *retour visa* の完成で, 晴れて外国に出かけられます.

3.3 健康診断の予約

Récépissé を取ったら, 所属機関の事務が健康診断の予約を入れてくれます. しばらくすると, Bastille 近くの OFII (Office Français de l'Immigration et de l'Intégration, @ 48, rue de la Roquette 75011 Paris) に, 何日何時に来なさい, という *convocation*(召集状)が届きます.

Convocation の持ち物リストには, 招集状, パスポート, *récépissé*, 印紙, 胸部 X 線写真, ワクチン接種記録, と書かれています. X 線写真は持ってない人ばかりなので, その場で X 線写真を撮ってもらえます. 自分の手持ちの X 線写真を持っていく場合は, 写真に名前の記載があることが大事らしく, それが無い場合は現場で受ける事になります.

4 Titre de sejour/carte de sejour/滞在許可証

健康診断に来いと言われた日は, 外国出張中の予定だったので, 大学事務に頼んで日程変更依頼を FAX で送ってもらいました. しかしそれから全く返事がなく, レセピセが来週にも切れそうになったので, 何か連絡よこせ, と催促してもらったら「じゃ明日来い」という *convocation* がすぐに FAX で届きました. その FAX 用紙も持って来い, との事です.

現場に行ってみると, 今度は訪問予定者リストに名前が *update* されてないようで, FAX 用紙を見せて頼んで健康診断を受けさせてもらいました. それに気づくまで一時間以上待たされました.

⁵一度 *récépissé* + *retour visa* が発行されると, *récépissé* の有効期間のうちは何度出入りしても良い, と窓口の職員が言っていました. *Destination de tous pays* (全ての国) と記載があります. ただし, 申告外の渡航予定がある人は, 念のため確認した方が良さそうです.

健康診断は、健康保険に入っているのか？という問いで始まり (travel insurance があると回答), 体重, 身長, 視力, 胸部 X 線と続き, 最後に医師の問診があります.

医師の問診では, 入国日を尋ねられ, 最後に健康診断を受けたのがいつ?, vaccination record (immunisation record) ある? 家族は心臓病や糖尿病の家系か?などを尋ねられます. 予防接種は公式な接種記録でなくとも, どの接種をいつ受けたかのリストを見せれば問題ありません. Polio, Smallpox, BCG, MMR について書いておきました. DPT の接種日が不明だったのでリストに入れなかったら, 受けないのか尋ねられ, フランスの政策で 10 年毎に接種するよう定められているとして, 無料で接種できる医療機関のリストをもらいました. あとは「何の研究をやってるの?」とか「歯は大丈夫?」のような, 穏やかな雰囲気でした.

一通り健康診断が終って, OFII の中にある Prefecture de Police の出張所に行くと, 印紙の納入について書かれた紙を出せ, というので見せたら, そこには印紙代金 300EUR と書いてあるのに, 「Scientist ね? Scientist は 340EUR だから」と手書きで修正されました. 1/Juillet/2010 にいろいろなものの値段が一斉に上がったのですが, 噂によるとそれに合わせて, 印紙代金も値上げされたようです. 値上げ日までに健康診断・滞在許可証発行までたどり着けていれば, 300EUR で済んだと思われまます. 最初に公言した手数料と異なる手数料を要求するなど, 納得いきませんが, そんなもんだと飲み込むしかないようです. 印紙はタバコ屋 (tabac) で買えます. OFII の近くでは 41 rue de la Roquette 75011 Paris にありました.

パスポート持ってこい, と書いてあったのに, 出せとも言われませんでした. たぶんパスポートの署名と, 滞在許可証の署名を照合する目的なのだと思いますが, 漢字署名だったので, 係員も諦めたのか「これアンタの signature よね?」とだけ尋ねられ, そのまま滞在許可証が発行されました.

4.1 外国に出張／渡航する場合 (その 2)

滞在許可証を持ってても, フランス国外に出張して帰ってくるには return visa を取りなはれ, と事務言われた事があります.

念のため l'ordre de la mission を書いてもらい, Prefecture de Police の Escalier E にある Salle des visas まで行って尋ねてみたところ, 「滞在許可証がある場合は return visa は要らない」と回答されました.

5 銀行

電気料金の引き落としや, 家賃を小切手で払ったりするのに, 銀行口座の開設は必須です. 開設に当たって, 以下の書類を提出しました.

1. 住居の契約書

2. 滞在費を保証する証明書 (学振発行, 英語, ただし金額は無記載にしました).
3. 日本の所属機関 (e.g. 大学) 発行の, 所属を証明する書類 (英語). これは必須ではなさそう.
4. Protocole d'accueil
5. パスポート

6 その他

日本の健康保険に加入していれば, フランスで病気や怪我をした時に支払った医療費を, 帰国時に **claim** できる, と聞いた事がありますが, 旅行保険には加入した方がよいでしょう. 旅行保険には, 医療費だけでなく, 他人への賠償 (個人賠償責任), 漏水時の保証, 所持品の損壊保証, 航空機遅延, などをカバーします. パリでは排水の詰まり・漏水が多いです.

写真は, 日本とフランスでは規格 (写真に占める顔の割合 etc) が違うので日本で撮っていても無駄, という話を聞いた事がありますが, 日本で撮ったパスポート用証明写真で事足りています. 街中の写真撮影機は 4.0EUR です (コインのみ受付する機械が大半と思われる). なお, Prefecture de Police の Bldg. E にも写真撮影機があります. メトロの駅の改札の外にも写真撮影機が置いてあることがあります. 料金不明.